



取扱説明書

RadiForce® RX670

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書および設定マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

- ・ モニターの設定 / 調整については、設定マニュアルを参照してください。
- ・ 取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp

ユーザー登録のお願い

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。お買い上げいただきましたお客様へより充実したサポートをお届けするため、ユーザー登録をお願いいたします。

www.eizo.co.jp/registration

絵表示について

本書および本体では次の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。
	注意（警告を含む）を促すものです。例えば  は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。例えば  は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

-
1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 4. この製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。
-

使用上の注意

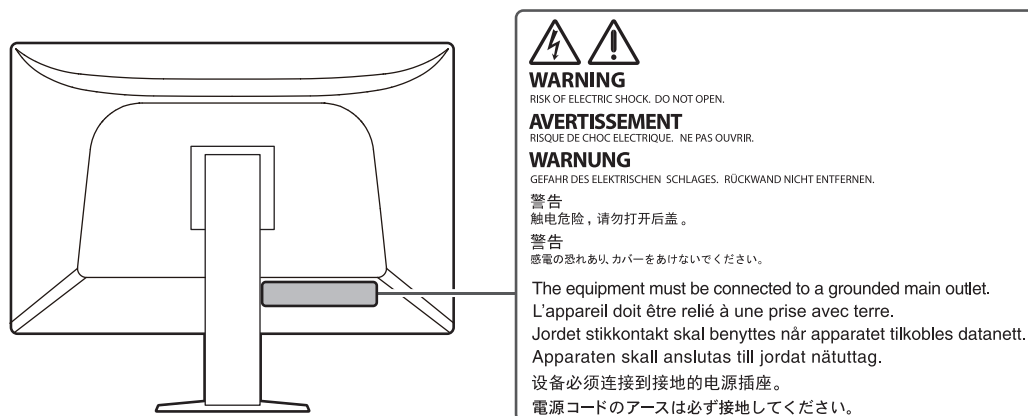
重要

製品の仕様は販売地域により異なります。販売地域外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product has been adjusted specifically for use in the region to which it was originally shipped. If operated outside this region, the product may not perform as stated in the specifications.

ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

警告表示位置

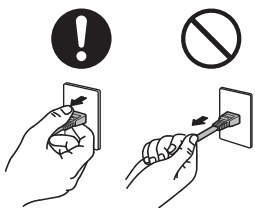


本体に使われている記号について

記号	意味
○	主電源スイッチ：この製品の主電源をオフにします。
⏻	主電源スイッチ：この製品の主電源をオンにします。
⏻	電源スイッチ：この製品の電源をオンまたはオフにします。
～	交流
⚡	危険警告・感電
⚠	注意

警告

 警告 万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはEIZOメンテナンスセンターに連絡する そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。	
 警告 分解しない、製品を改造しない この製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。	
 警告 修理は販売店またはEIZOメンテナンスセンターに依頼する お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。	
 警告 異物を入れない、液体を置かない この製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。 万一、この製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。	
 警告 丈夫で安定した場所に置く 不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。 万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。	

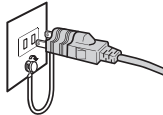
 警告	
次のような場所で使用しない 火災や感電、故障の原因となります。 ・ 屋外 ・ 車両・船舶などへの搭載 ・ 湿気やほこりの多い場所 ・ 水滴のかかる場所。浴室、水場など ・ 油煙や湯気が直接当たる場所 ・ 熱器具、加湿器の近く ・ 直射日光が直接製品に当たる場所 ・ 可燃性ガスのある環境 ・ 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）が発生する環境 ・ ほこりや空气中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境	
 警告	プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する 包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。
 警告	付属の電源コードを使用し、100VAC電源に接続して使用する 付属の電源コードは日本国内100VAC専用品です。 誤った接続をすると火災や感電の原因となります。
 警告	電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。 

⚠ 警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界放射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

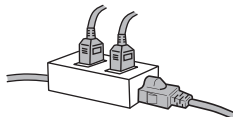


⚠ 警告

次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- ・取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
- ・タコ足配線



⚠ 警告

電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



⚠ 警告

操作者はこの製品に触れたまま患者に接触しない

この製品は患者との接触を意図していません。



⚠ 警告

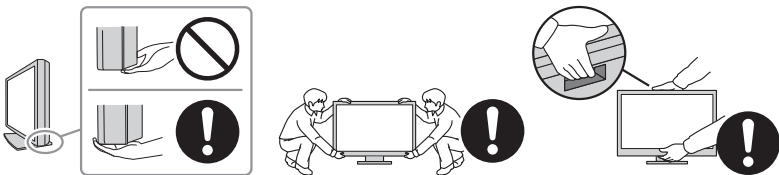
雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



 警告	アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示に従い、確実に設置する 確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。設置する前に、アームやスタンドを固定する机や壁などに十分な強度があるか確認してください。 万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のねじを使用し、確実に固定してください。 
 警告	液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。 万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。 
 警告	高所への取り付けは専門業者に依頼する モニターを高所に取り付ける場合、製品およびその部品等が落下してけがの原因となる恐れがあります。当社または工事専門業者に、取り付け前後の製品の破損や変形がないかの点検も含め、取り付けを依頼してください。 

注意

⚠ 注意	
背面照明や手元灯の光源を直視しない 目の痛みや視力障害の原因となることがあります。	
⚠ 注意	
手元灯のアームに無理な力を加えない アームを強い力で曲げたり、ねじったりすると、破損、故障の原因となります。	
⚠ 注意	
使用する前に必ず動作確認をする 表示画像に問題がないことを確認してから使用してください。 多画面を使用する場合は、正常に画像が表示されていることを確認してから使用してください。	
⚠ 注意	
固定機能付きケーブル/コードは、固定して使用する 固定せずに使用すると、ケーブル/コードが抜けて画面が表示されなくなり、作業が中断する原因となります。	
⚠ 注意	
運搬のときは、接続コードやオプション品を外す コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。	
⚠ 注意	
この製品を移動させるときは、正しい方法で移動する - この製品を移動するとき、画面の下部をしっかりと持つ。 30インチ以上のモニターの場合、開梱や持ち運びは必ず2人以上でおこなう。 - モニター背面にハンドルのある機種の場合は、ハンドルと画面の下部をしっかりと持つ。 落としたりするとけがや故障の原因となります。	 
	

 注意	
手を挟まないように注意する	
モニターの高さや角度を調整する際に、勢いよく力を加えると、手を挟んでけがをする恐れがあります。	
 注意	
通風孔をふさがない	
・ 通風孔の上や周囲にものを置かない。 ・ 風通しの悪い、狭いところに置かない。 ・ 横倒しや逆さにして使わない。 通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。	
 注意	
濡れた手で電源プラグに触れない	
感電の原因となります。 	
 注意	
電源プラグの周囲にものを置かない	
火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。	
注意	
電源プラグ周辺、モニターの通風孔は定期的に掃除する	
ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。	
注意	
クリーニングの際は電源プラグを抜く	
プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。	
注意	
長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源コンセントから電源プラグも抜く	
	

モニターについて

使用用途

この製品は、一般撮影やMRI、CTなどの医用画像表示用途に適しています。

注意点
・ 本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。 ・ 本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時のみ適用いたします。 ・ この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

使用上の留意点

- ・ 長時間使用することにより、部品（液晶パネルやファンなど）が劣化することがあります。正常に動作することを定期的に確認してください。
- ・ 同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として残ることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が残ることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。
- ・ モニターの表示が安定するまでに、数分かかります。モニターの電源を入れたあと、または省電力モードから復帰して数分以上経過してから使用してください。
- ・ 表示状態を長時間続けると、表示面にシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。
- ・ 液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- ・ 画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。
- ・ 液晶パネルの表面や外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておくと、液晶の劣化や、液晶パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）
- ・ 液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。
- ・ 内蔵キャリブレーションセンサー（Integrated Front Sensor）に触れないでください。測定精度の低下や破損の原因となります。

- ・内蔵の照度センサーは、環境によっては照度計と異なる測定値を示す場合があります。
- ・この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたり、温度が低い部屋から高い部屋に移動したりすると、製品の表面や内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

モニターを長くご使用いただくために

品質管理

- ・モニターの表示品質は、入力信号の品位や製品の劣化により変化します。用途に応じた医療規格 / ガイドラインに従って、日常点検や定期的な不変性試験（階調チェックを含む）を実施し、必要に応じてキャリブレーションを実行してください。モニター品質管理ソフトウェア RadiCS（別売オプション）を使うことで、医療規格 / ガイドラインに対応した高度な品質管理を実施することができます。
- ・品質管理のための各種試験やキャリブレーション、モニターの画面調整は電源を入れたあと、または省電力モードから復帰して15分以上経過してからおこなってください。
- ・長時間使用することによる輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、推奨輝度またはそれ以下の輝度で使用されることをお勧めします。
- ・内蔵キャリブレーションセンサー（Integrated Front Sensor）と別売りの外付けセンサーの測定結果を同等にするためには、RadiCS（別売オプション） / RadiCS LE（付属）を使用してIntegrated Front Sensorと外付けセンサーの相関取り（コレレーション）を実行してください。定期的なコレレーションにより、Integrated Front Sensorは外付けセンサーと同等の測定結果を維持することができます。コレレーションに関する詳細は、RadiCS / RadiCS LE取扱説明書を参照してください。

注意点

- ・誤操作や意図しない設定の変更により、モニターの表示状態が変更される場合があります。モニターの画面調整後は、操作スイッチをロックした状態でのご使用をお勧めします。設定方法の詳細は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。

クリーニング

- ・この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします。
- ・製品に付いた汚れは、少量の水をしめらせた柔らかい布、または当社製ScreenCleanerを使って、やさしく拭き取ってください。

注意点

- ・製品に液体を直接付着させないでください。付着した場合、直ちに拭き取ってください。
- ・製品の隙間や内部に液体が入らないようにしてください。
- ・クリーニングや消毒のために薬品を使用する場合、アルコール、消毒薬などの薬品は、製品の光沢の変化、変色、色あせ、表示画質の劣化などにつながる恐れがあります。薬品は頻繁に使用しないでください。
- ・シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、製品をいためるため絶対に使用しないでください。
- ・クリーニングおよび消毒の詳細は、当社Webサイトをご確認ください。
確認方法：www.eizo.co.jpにアクセスし、サイト内検索ボックスに「消毒」と入力して検索

薬品による消毒

- ・製品を消毒する場合は、当社でテスト済みの薬品の使用をお勧めします（次の表を参照してください）。なお、これらの薬品を使用した場合でも、製品が損傷したり劣化しないことを保証するものではありません。

分類	薬品の種類	商品例
アルコール系	消毒用エタノール（エチルアルコール）	エタノール
アルコール系	イソプロパノール	イソプロピルアルコール（IPA）
塩素系	次亜塩素酸ナトリウム	ピューラックス
ビグアニド系	グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン液
アルコール系	塩化ベンザルコニウム	ウエルパス
アルデヒド系	グルタラル	ステリハイド
アルデヒド系	グルタラル	サイデックスプラス28
両性界面活性剤	アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩	サテニジン液

モニターを快適にご使用いただくために

- ・画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。
- ・画面は、適切な距離および角度でご覧ください。

サイバーセキュリティに関するお願い

- ・ファームウェアのアップデートはEIZO株式会社またはその代理店を通じて実施してください。
- ・EIZO株式会社またはその代理店からファームウェアをアップデートするように案内があった場合は速やかにアップデートをおこなってください。

目次

使用上の注意	3
重要	3
警告表示位置	3
本体に使われている記号について	3
警告	4
注意	8
モニターについて	10
使用用途	10
使用上の留意点	10
モニターを長くご使用いただくために	11
品質管理	11
クリーニング	11
薬品による消毒	12
モニターを快適にご使用いただくために	12
サイバーセキュリティに関するお願い	12
1 はじめに	15
1.1 特長	15
1.1.1 自由なレイアウト	15
1.1.2 シンプルな配線	15
1.1.3 USB-Cケーブル1本の接続で映像表示と電力供給に対応	15
1.1.4 モノクロとカラーをハイブリッド表示	16
1.1.5 品質管理	16
1.1.6 ドッキングステーション機能	16
1.1.7 照明機能（RadiLight）を搭載	17
1.1.8 省スペース	17
1.1.9 マウスやキーボードによるモニター操作	18
1.2 梱包品の確認	18
1.2.1 EIZO LCDユーティリティディスクの収録内容	19
1.2.2 RadiCS LEについて	19
1.2.3 RadiCS LEを使用するときは	20
1.3 各部の名称と機能	21
1.3.1 前面	21
1.3.2 背面	22
2 設置 / 接続	24
2.1 設置の前に	24
2.1.1 設置条件	24
2.2 接続する	25
2.3 RadiLight Focus（手元灯）を取り付ける	30
2.4 電源を入れる	30
2.5 高さ、角度を調整する	31

2.6	コネクタカバーを取り付ける	32
2.7	RadiLight Area / RadiLight Focusを使用する	33
3	画面が表示されない場合には	34
4	仕様	36
4.1	仕様一覧	36
4.1.1	種類	36
4.1.2	液晶パネル	36
4.1.3	映像信号	36
4.1.4	USB	37
4.1.5	ネットワーク	37
4.1.6	電源	37
4.1.7	機構	38
4.1.8	動作環境条件	38
4.1.9	輸送 / 保存環境条件	38
4.2	対応解像度	39
4.3	オプション品	40
付録		41
	医療規格	41
	VCCI	41
	その他規格	41
	EMC情報	42
	意図した使用環境	42
	技術的説明	43
アフターサービス		49
	修理を依頼されるとき	49
	修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容	49
	製品回収、リサイクルシステムについて	49
5	保証書	50

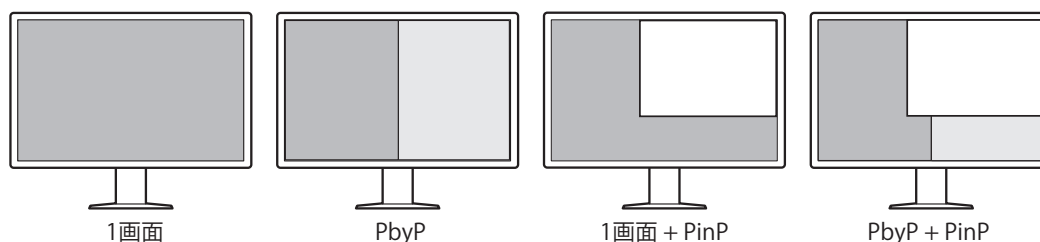
1 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1.1 特長

1.1.1 自由なレイアウト

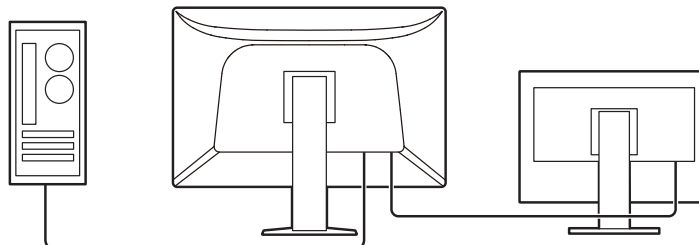
- 最大で3つの信号を同時に表示できるPbyP（Picture by Picture）、PinP（Picture in Picture）機能を搭載しています。



- 信号ケーブル1本でPbyP表示が可能なOne Cable PbyP機能を搭載しています。

1.1.2 シンプルな配線

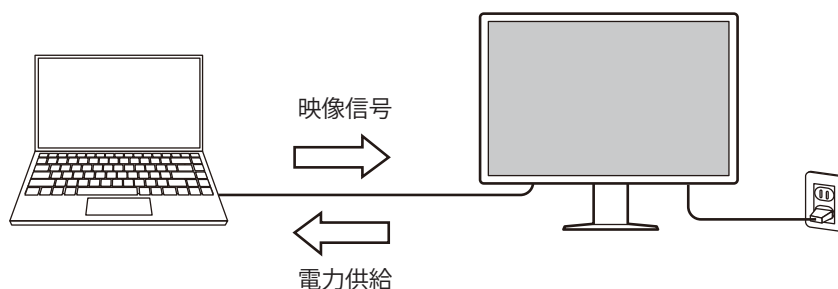
USB Type-C®（USB-C®）の出力端子を搭載しています。
この出力端子から、他のモニターに信号出力ができます。



1.1.3 USB-Cケーブル1本の接続で映像表示と電力供給に対応

この製品はUSB-Cコネクタを搭載しており、映像信号の送信（DisplayPort™ Alt Mode）と電力供給（USB Power Delivery）に対応しています。

ノートPCの外部モニターとして使用しながら、ノートPCへ電力を最大94 W供給できます。



参考

- 映像信号を表示するには、接続する機器が映像信号の送信（DisplayPort Alt Mode）に対応している必要があります。
- 電力を供給するには、接続する機器がUSB Power Deliveryによる充電機能に対応している必要があります。
- 次のUSBケーブルを使用した場合のみ、最大94 Wの電力供給が可能です。
 - CC150SS81G-5A（付属）
- モニターが省電力モードの場合でも、接続している機器の充電ができます。

1.1.4 モノクロとカラーをハイブリッド表示

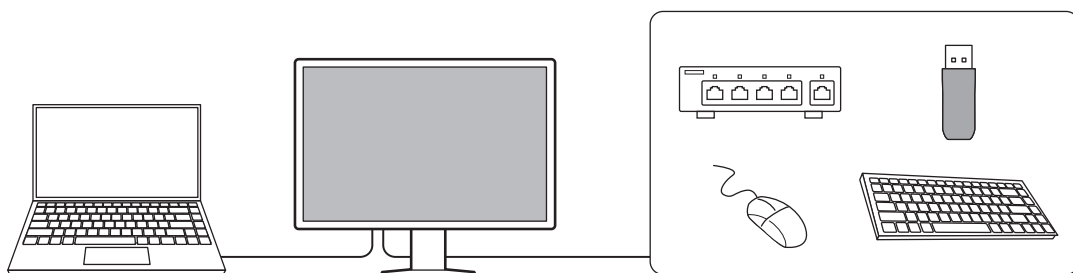
Hybrid Gamma PXL機能を有効にすることで、同一画面内のモノクロとカラーをピクセルごとに自動判別し、それぞれ最適な階調で表示することができます。

1.1.5 品質管理

- 内蔵キャリブレーションセンサー（Integrated Front Sensor）を搭載しています。このセンサーを使用して、モニター単独でのキャリブレーション（SelfCalibration）や階調チェックができます。
- 添付のRadiCS LEを使用することで、モニターのキャリブレーションや履歴管理が可能です。
- モニター品質管理ソフトウェア RadiCSを使用することで、各種医療規格 / ガイドラインに対応した品質管理が可能です。

1.1.6 ドッキングステーション機能

この製品はドッキングステーション機能として、LANポートとUSBハブを搭載しています。USB-Cケーブルを接続することで、LANポートを搭載していないノートPCやタブレット機器でも安定したネットワーク環境を利用できます。また、USB対応の周辺機器の利用やスマートフォンの充電ができます（設定マニュアル「ドッキングステーション機能の使用方法」参照）。



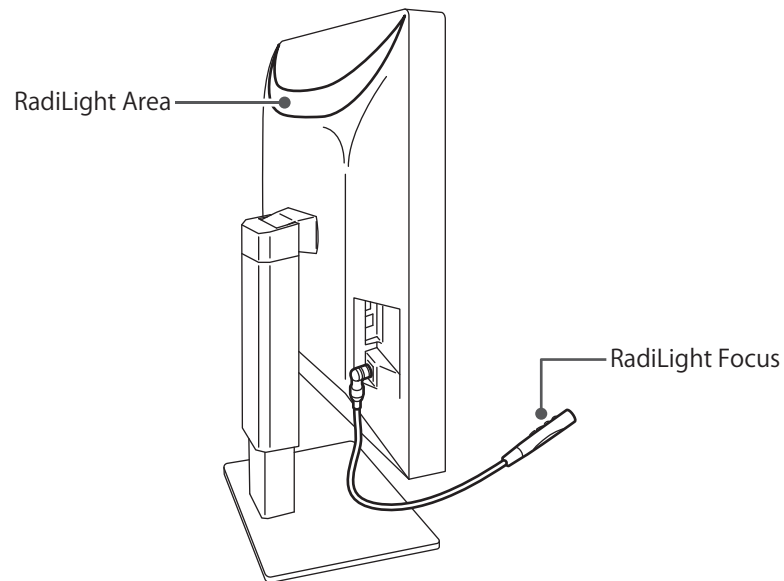
1.1.7 照明機能（RadiLight）を搭載

RadiLight Area（背面照明）

- RadiLight Areaはモニター内蔵の背面照明機能です。モニターの背面から間接的に室内を照らし、暗い環境でも効率的な読影をおこなうことができます。

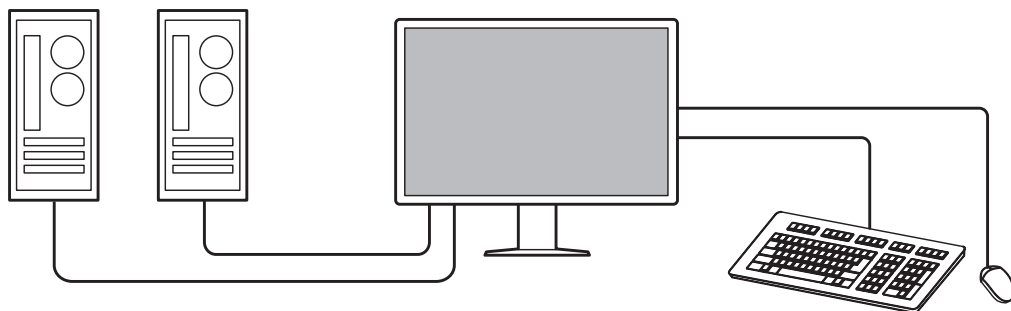
RadiLight Focus（手元灯）

- RadiLight Focusは着脱式の手元灯です。書類の読み書きやキーボード操作時に手元を照らすことができます。



1.1.8 省スペース

複数のUSBコネクタ（アップストリーム）を搭載しています。複数台のコンピュータを1組のUSBデバイス（マウスやキーボードなど）で操作することができます。



1.1.9 マウスやキーボードによるモニター操作

モニター品質管理ソフトウェア RadiCS / RadiCS LEを使うことで次のモニター操作がマウスやキーボードを使って簡単におこなうことができます。

- CAL Switchモードの切り替え
- 入力信号の切り替え
- 画面の一部に任意のCAL Switchモードを割り当てて表示する機能（Point-and-Focus）
- PinP子画面の表示 / 非表示（Hide-and-Seek）
- USBデバイス进行操作するコンピュータの切り替え（Switch-and-Go）
- 省電力モードへの移行（Backlight Saver）
- 一時的に輝度を上げて診断画像の視認性を向上させる機能（Instant Backlight Booster）

参考

- RadiCS / RadiCS LEを使うことで、PinP子画面の表示 / 非表示とUSBデバイス进行操作するコンピュータの切り替えを同時におこなうことも可能です。設定方法の詳細は、RadiCS / RadiCS LEの取扱説明書を参照してください。

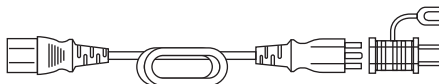
1.2 梱包品の確認

次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店または別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

参考

- 梱装箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。

- モニター本体
- 電源コード（二芯アダプタ付き）



- デジタル信号ケーブル（DisplayPort - DisplayPort）：PP300-V14×2本



- デジタル信号ケーブル（HDMI - HDMI）：HH300PR×1本



- USB2.0ケーブル（USB-A - USB-B）：UU300×2本



- USB-Cケーブル（USB-C - USB-C）：CC150SS81G-5A×1本



- コネクタカバー（左）
- コネクタカバー（右）
- RadiLight Focus（手元灯）
- EIZO LCDユーティリティディスク（CD-ROM）

- 取扱説明書（保証書付き）
- 出荷試験報告書
- お客様ご相談窓口のご案内

1.2.1 EIZO LCDユーティリティディスクの収録内容

CD-ROMには、次のものが収録されています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

- Readmeja.txtファイル
- モニター品質管理ソフトウェア RadiCS LE（Windows用）
- 取扱説明書
 - モニターの取扱説明書
 - モニターの設定マニュアル
 - RadiCS LEの取扱説明書
- 製品寸法図

1.2.2 RadiCS LEについて

RadiCS LEを使用することで、次のような品質管理やモニター操作をおこなうことができます。ソフトウェアのより詳しい内容や設定方法については、RadiCS LEの取扱説明書を参照してください。

品質管理

- キャリブレーションの実行
- 試験実行結果の一覧表示やレポート作成
- SelfCalibrationの調整目標および実行スケジュールの設定

モニター操作

- CAL Switchモードの切り替え
- 入力信号の切り替え
- 画面の一部に任意のCAL Switchモードを割り当てて表示する機能（Point-and-Focus）
- PinP子画面の表示 / 非表示（Hide-and-Seek）
- USBデバイスを操作するコンピュータの切り替え（Switch-and-Go）
- 省電力モードへの移行（Backlight Saver）
- 一時的に輝度を上げて診断画像の視認性を向上させる機能（Instant Backlight Booster）
- 環境光に応じてTextモードに設定されているモニターの輝度を自動的に調整する機能（Auto Brightness Control）

注意点

- RadiCS LEの仕様は予告なしに変更することがあります。最新のRadiCS LEは、当社のWebサイトからダウンロードできます。（www.eizo.co.jp）

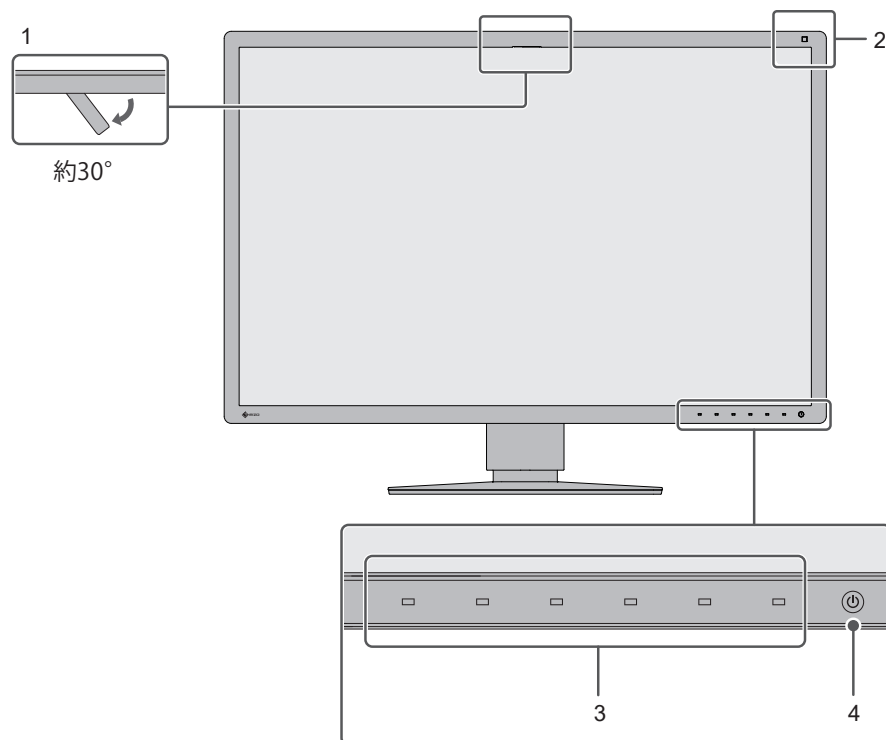
1.2.3 RadiCS LEを使用するときは

RadiCS LEのインストール方法、使用方法については、RadiCS LEの取扱説明書（CD-ROM 内）を参照してください。

RadiCS LEを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属のUSBケーブルで接続してください。接続方法の詳細は[2.2 接続する \[P. 25\]](#)を参照してください。

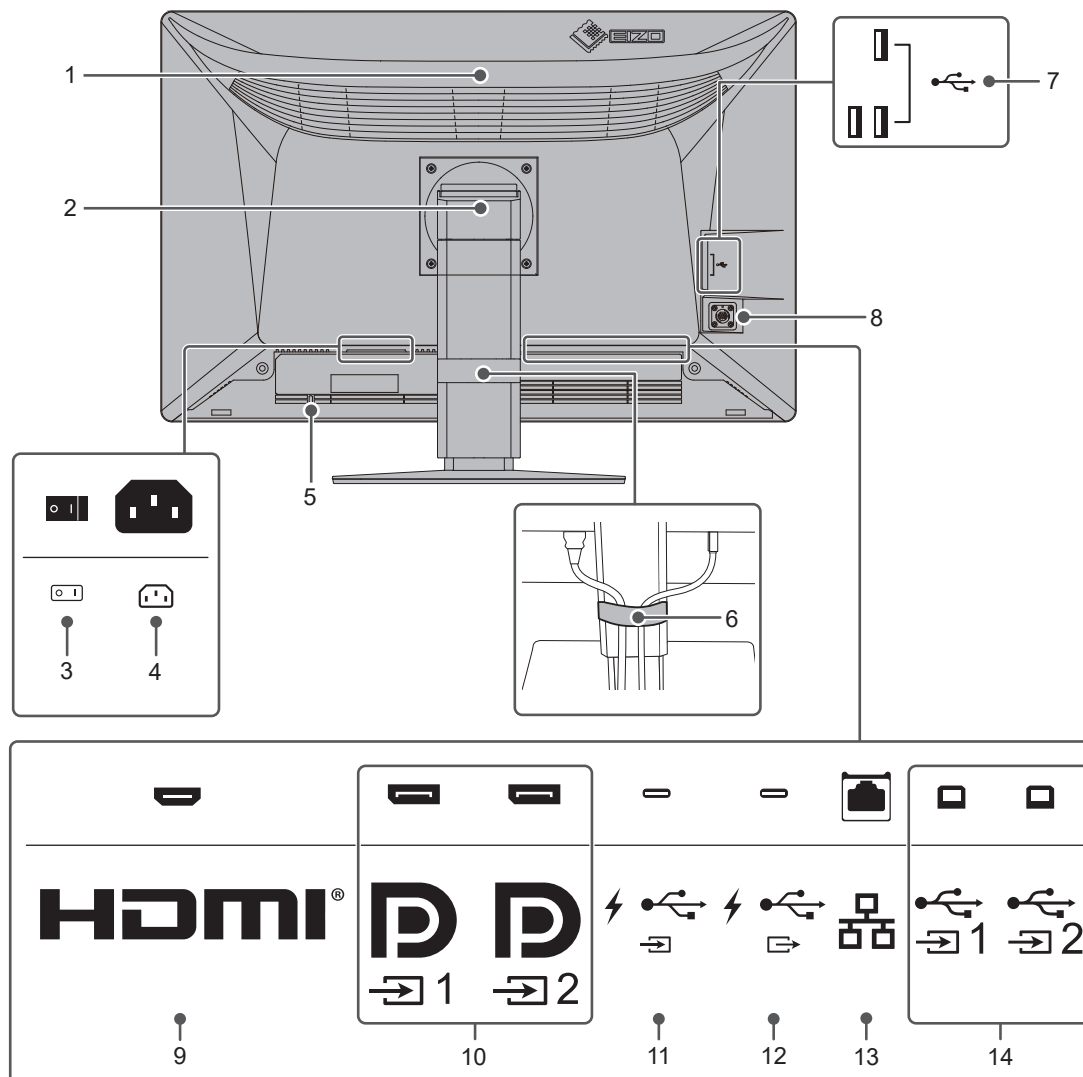
1.3 各部の名称と機能

1.3.1 前面



1. Integrated Front Sensor (可動式)	キャリブレーションや階調チェックをおこなうためのセンサーです。
2. 照度センサー	環境照度を測定するセンサーです。環境照度の測定は品質管理ソフトウェアRadiCS / RadiCS LEを使っておこないます。
3. 操作スイッチ	操作ガイドを表示します。操作ガイドに従って各種メニューを設定します。
4. 電源スイッチ	電源のオン/オフを切り替えます。 電源を入れると、スイッチのランプが点灯します。モニターの動作状態に応じてランプの色が変化します。 緑：通常動作モード、橙：省電力モード、 消灯：主電源オフまたは電源オフ

1.3.2 背面



1. RadiLight Area (背面照明)	モニター内蔵の背面照明機能です。モニターの背面から間接的に室内を照らします。
2. スタンド	高さと角度（チルト、スウィーベル）が調整できます。
3. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。 ○：オフ、 ：オン
4. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
5. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
6. ケーブルホルダー	ケーブルをすっきりとまとめることができます。
7. USB-Aコネクタ (ダウンストリーム)	USBに対応している周辺機器と接続できます（設定マニュアル「ドッキングステーション機能の使用方法」参照）。
8. 手元灯接続コネクタ	RadiLight Focusを接続します。
9. HDMIコネクタ	HDMI出力のあるコンピュータを接続します。
10. DisplayPortコネクタ	DisplayPort出力のあるコンピュータを接続します。

11. USB-Cコネクタ (アップストリーム)	USB-C出力のあるコンピュータを接続します。USB接続が必要なソフトウェアやドッキングステーション機能（設定マニュアル「ドッキングステーション機能の使用方法」参照）を使用するためのUSB信号も伝送されます。
12. USB-Cコネクタ (ダウンストリーム)	デイジーチェーン接続する場合に、他のモニターのUSB-Cアップストリームコネクタと接続します。また、USBに対応している周辺機器と接続できます（設定マニュアル「ドッキングステーション機能の使用方法」参照）。
13. LANポート	ドッキングステーション機能（設定マニュアル「ドッキングステーション機能の使用方法」参照）のネットワーク接続を使用する場合に、ネットワークハブやルーターとLANケーブルで接続します。
14. USB-Bコネクタ (アップストリーム)	USB-C接続をしていないコンピュータで、USB接続が必要なソフトウェアを使用する場合や、この製品のUSBハブ機能を使用する場合にコンピュータと接続します。

2 設置 / 接続

2.1 設置の前に

使用上の注意 [P. 3]をよく読み、必ずお守りください。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

2.1.1 設置条件

モニターをラックなどに設置する場合は、周囲（側面、背面、上方）に十分な空間を確保してください。

注意点
・ 照明の光が画面に映り込まないようにモニターを配置してください。

2.2 接続する

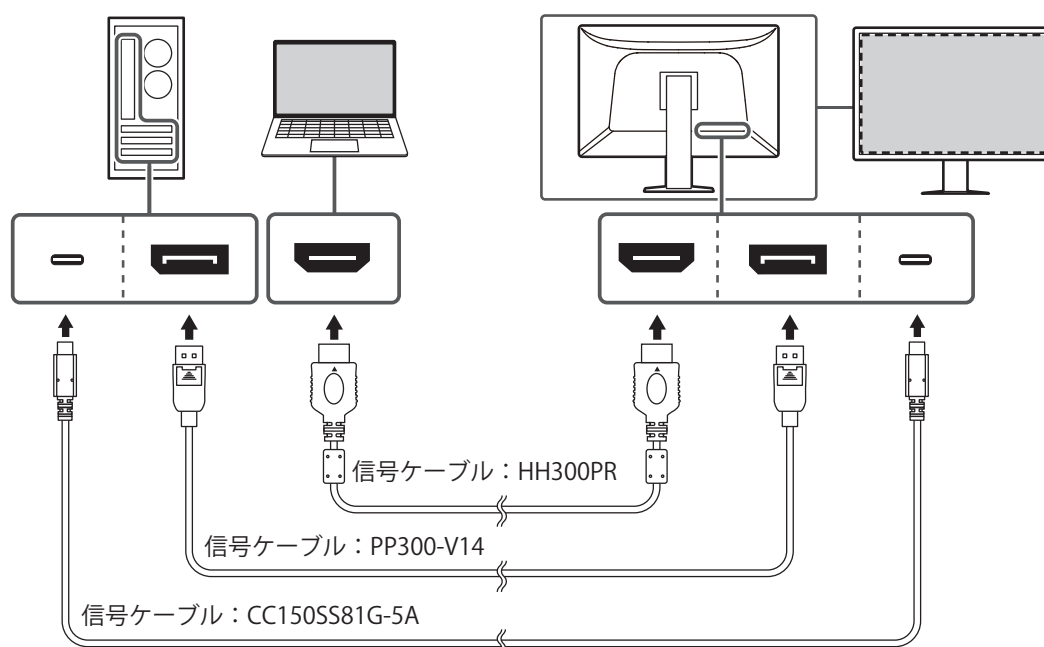
注意点

- ・ モニター、コンピュータ、および周辺機器の電源は切った状態で接続してください。
- ・ 今まで使用していたモニターをこの製品に置き換える場合、コンピュータと接続する前に[4.2 対応解像度 \[P. 39\]](#)を参照し、コンピュータの設定をこの製品で表示できる解像度 / 垂直走査周波数に変更してください。
- ・ ケーブルが差し込みにくい場合は、画面の角度を調整してください。

1. 信号ケーブルを接続します。

コネクタの形状を確認して、ケーブルを接続してください。

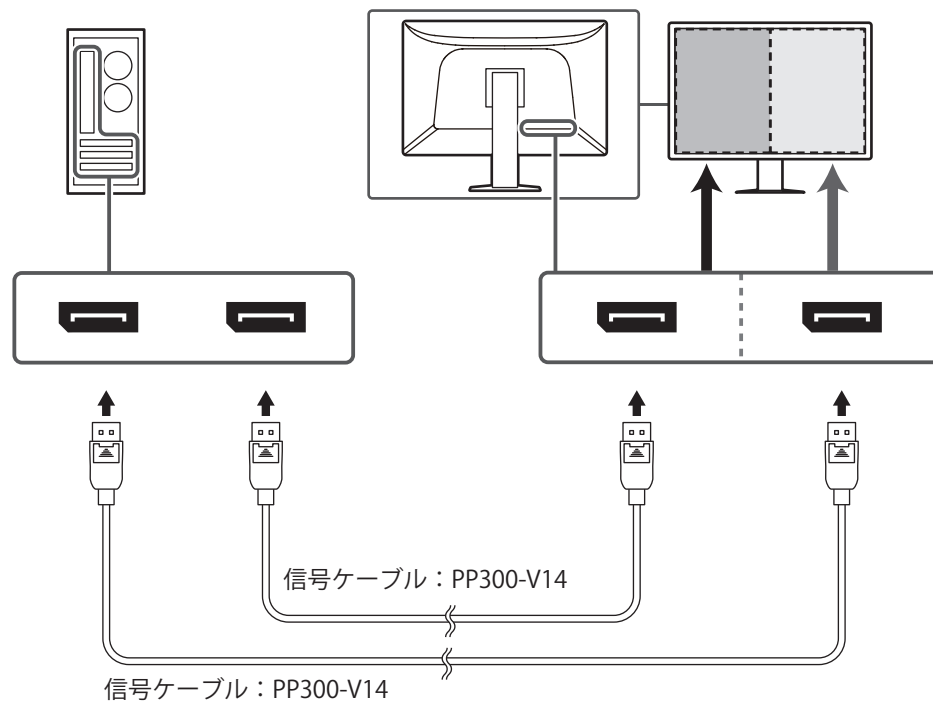
1画面表示する場合



注意点

- ・ 出荷状態ではDisplayPort 1コネクタの信号が表示される設定です。他のコネクタの信号を表示する場合は、入力信号を切り替えてください（設定マニュアル「入力信号を切り替える」参照）。
- ・ USB-C接続で映像表示のほかに、RadiCS / RadiCS LEを使用したモニターの品質管理やUSBデバイス（USBに対応している周辺機器）の接続もおこなう場合は、設定メニューの「USB選択」を「USB-C」に設定する必要があります。詳細は設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
- ・ HDMI®信号の場合、リミテッドレンジで表示されることがあります。

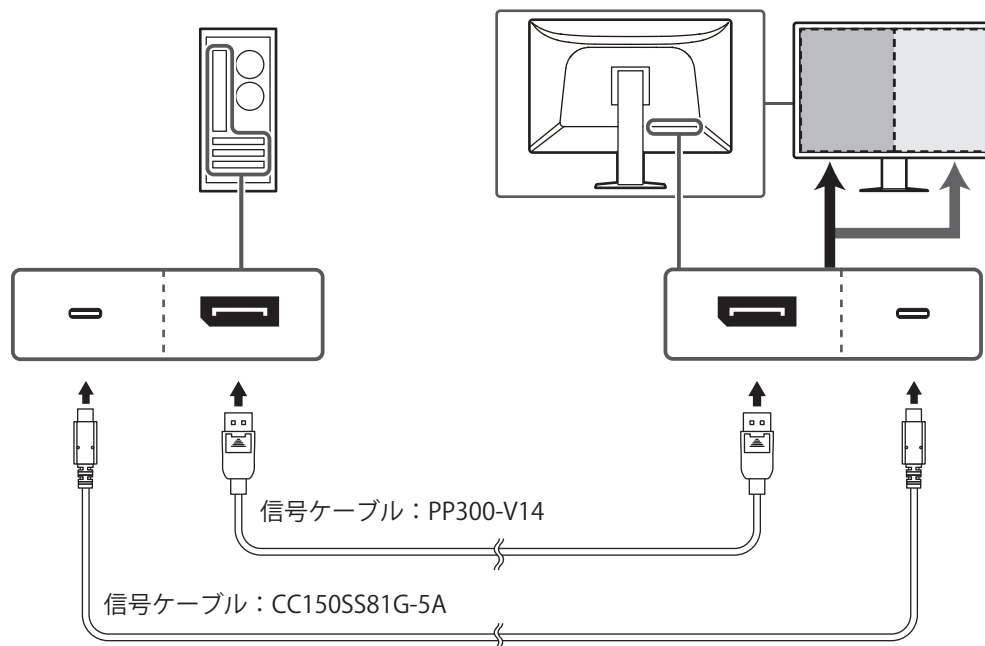
PbyP（DisplayPort 1 / DisplayPort 2）表示する場合



注意点

- PbyP（DisplayPort 1 / DisplayPort 2）表示をおこなう場合は、設定メニューの「PbyP設定」の設定が必要です。詳細は設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
- 2台のコンピュータからPbyP表示する場合、キャリブレーションなどの品質管理が一部制限されることがあります。

PbyP（One Cable PbyP）表示する場合

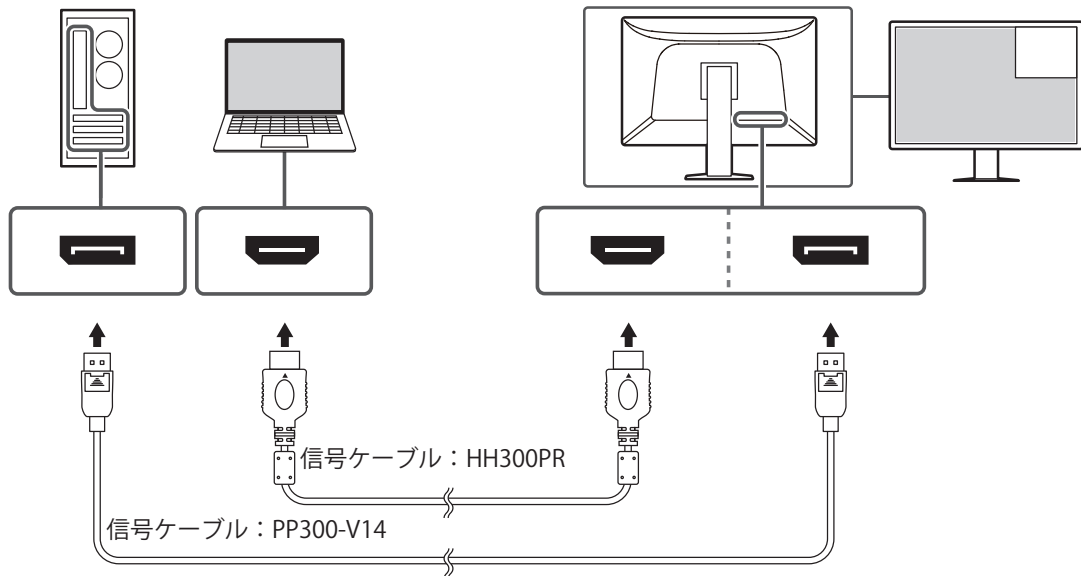


注意点

- PbyP（One Cable PbyP）表示をおこなう場合は、DisplayPort 1コネクタまたはUSB-Cコネクタ（アップストリーム：)に接続してください。また、設定メニューの「PbyP設定」の設定が必要です。詳細は設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
- USB-C接続で映像表示のほかに、RadiCS / RadiCS LEを使用したモニターの品質管理やUSBデバイス（USBに対応している周辺機器）の接続もおこなう場合は、設定メニューの「USB選択」を「USB-C」に設定する必要があります。詳細は設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。

PinP（子画面）表示する場合

例：HDMIコネクタを使用



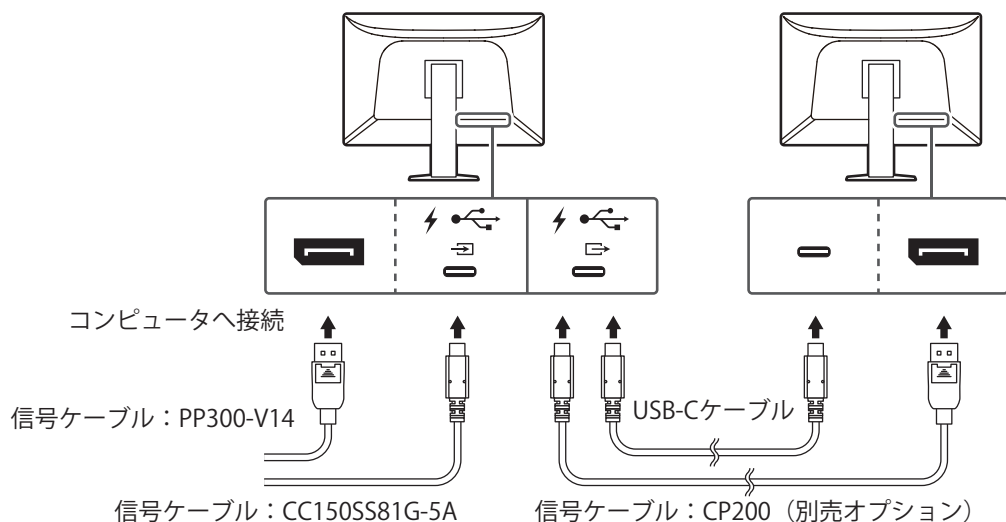
注意点

- PinP（子画面）表示をおこなう場合は、設定メニューの「PinP設定」の設定が必要です。詳細は設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
- HDMI信号を1画面表示している場合、PinP（子画面）表示機能は使用できません。

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

別のモニターにデージーチェーン接続する場合

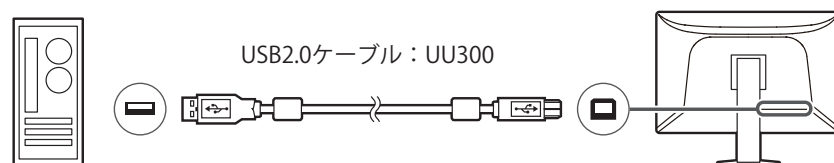
DisplayPort 1コネクタまたはUSB-Cコネクタ（アップストリーム：）に入力した信号を他のモニターに出力します。



注意点

- デージーチェーン接続が可能なモニターとグラフィックスボードは、当社のWebサイトでご確認ください。
(www.eizo.co.jp)
- デージーチェーン接続をおこなう場合は、DisplayPort 1コネクタまたはUSB-Cコネクタ（アップストリーム：）に接続してください。また、管理者設定メニューの「Daisy Chain」の設定が必要です。詳細は設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
- 出荷状態ではUSB-C（ダウンストリーム：）にキャップが付いています。使用する場合はキャップを外してください。

2. 付属の電源コードをモニターの電源コネクタと電源コンセントに接続します。
電源コードをモニターの奥まで差し込んでください。
3. USB-C接続をしない場合で、かつ、RadiCS / RadiCS LEを使用する場合やモニターにUSBデバイス（USBに対応している周辺機器）を接続する場合は、USB2.0ケーブルをモニターのUSB-BコネクタとコンピュータのUSB-Aコネクタに接続します。

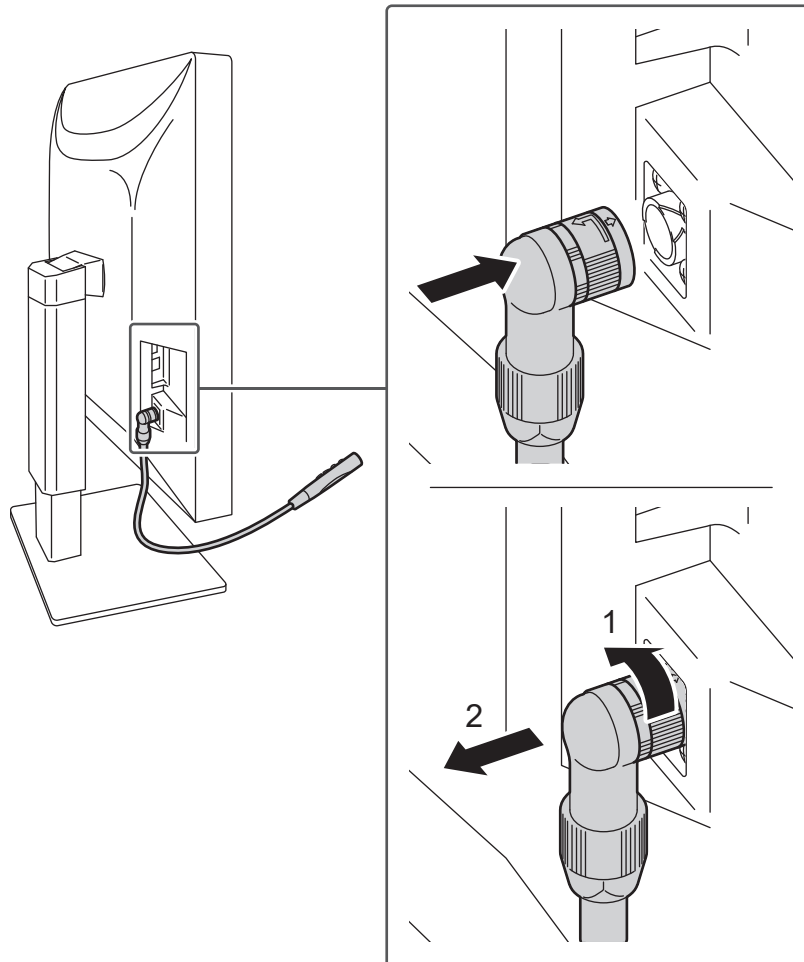


注意点

- RadiCS / RadiCS LEをインストールしたコンピュータと接続する場合はUSB-B 1（）またはUSB-C（アップストリーム：）に接続してください。
- USB-B 2（）を使用する場合は、事前にキャップを外してください。また、設定メニューの「USB選択」の設定を変更してください（設定マニュアル「USB選択」参照）。

2.3 RadiLight Focus（手元灯）を取り付ける

RadiLight Focus（手元灯）をモニターの手元灯接続コネクタに取り付けます。
取り付けできる向きはコネクタに対し垂直下方向のみです。



取り外す場合は、モニターとの接続部分を図の1の方向に回しながら引き抜きます。

2.4 電源を入れる

1. 電源ボタン（）に触れて、モニターの電源を入れます。
モニターの電源スイッチのランプが緑色に点灯します。
ランプが点灯しない場合は、3 画面が表示されない場合には [\[P. 34\]](#)を参照してください。

参考

- ・ モニターの電源が入っていない状態で、電源ボタン（）を除くいずれかの操作スイッチに触れると電源ボタン（）が点滅して、電源スイッチの場所をお知らせします。

2. コンピュータの電源を入れます。

画面が表示されます。

電源を入れても画面が表示されない場合は、[3 画面が表示されない場合には \[P. 34\]](#)を参照してください。

注意点

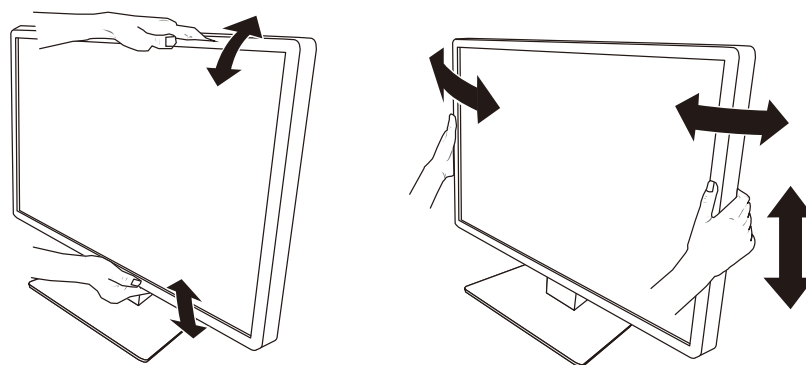
- ・ 初回接続時や接続方法を変更した場合には、解像度や表示スケールなどのディスプレイ設定が適切でないことがあります。コンピュータの設定が適切になっていることを確認してください。
- ・ 省電力のためにはモニターの電源を切ることをお勧めします。モニターを使用しない時は、主電源を切るか、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。

参考

- ・ 輝度劣化を抑制しモニターを長くお使いいただくため、および消費電力抑制のために次のことをおこなってください。
 - コンピュータまたはモニターのパワーセーブ機能を使用する。
 - 使用後はモニターの電源を切る。

2.5 高さ、角度を調整する

モニターの上下または左右を両手で持ち、画面の高さや上下左右の角度を作業に適した状態になるように調整します。

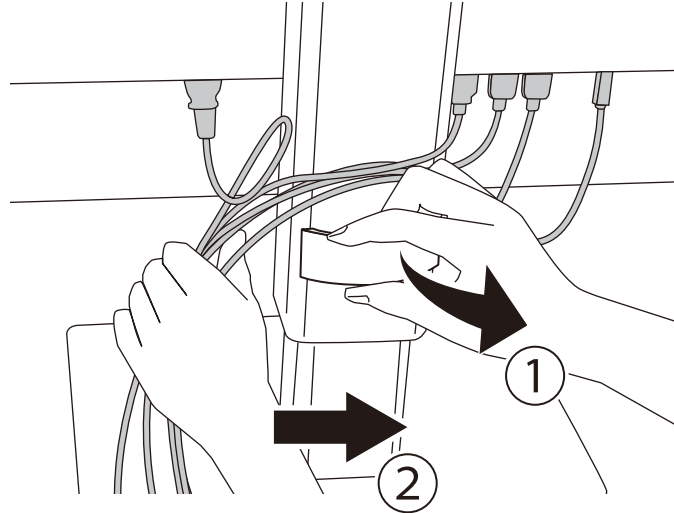


注意点

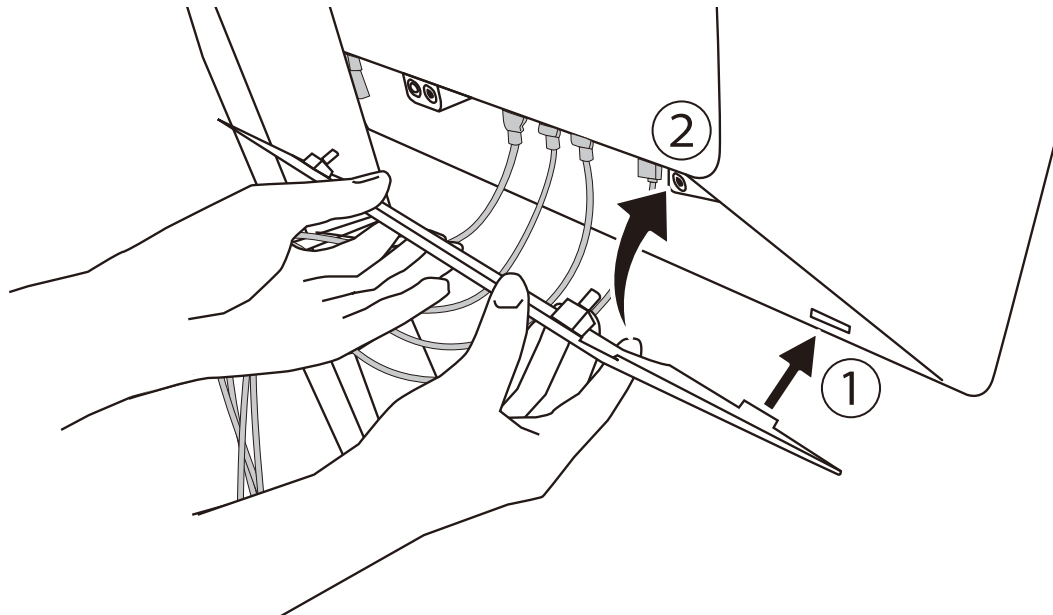
- ・ 調整後、ケーブル類が正しく接続されていることを確認してください。
- ・ 高さ、角度を調整した後、ケーブルをケーブルホルダーに通してください。
- ・ 手元灯を取り付けた状態でモニターの角度などを調整する際は、手元灯に力が加わらないように注意してください。コネクタやアームが破損するおそれがあります。

2.6 コネクタカバーを取り付ける

1. ケーブル類を、ケーブルホルダーに収納します。



2. コネクタカバーを取り付けます。



例：コネクタカバー（右）取り付け時

注意点

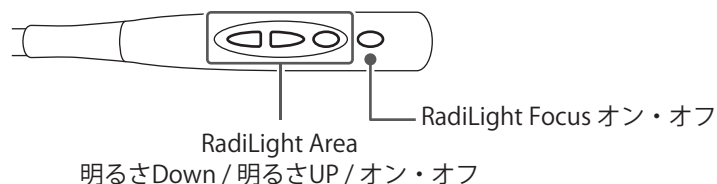
- ・ モニター内部の通気を確保するために、確実に取り付けてください。

参考

- ・ コネクタカバーを取り外す場合は、コネクタカバーを手前に引いてください。

2.7 RadiLight Area / RadiLight Focusを使用する

1. モニターとコンピュータの電源が入っていることを確認します。
2. 操作スイッチで、RadiLight AreaやRadiLight Focusのオン・オフをおこないます。
RadiLight Areaの明るさを調整します。



注意点

- LEDはバラツキがあるため、同じ製品であっても、発光色、明るさが異なる場合があります。
- 次のような環境でRadiLight Areaを使用する場合には、十分な照度が得られないことがあります。
 - 壁や天井までの距離が遠い場合
 - 壁や天井が反射しにくい素材または暗い色の場合
- RadiLight Focusの向きを変える際は、先端部分だけを持たずに、アーム部分と合わせて角度を調整してください。

参考

- RadiLight Areaの設定方法については設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。

3 画面が表示されない場合には

電源スイッチのランプが点灯しない

- 電源コードは正しく接続されていますか。
- 背面の主電源スイッチを入れてください。
- ①に触れてください。
- 背面の主電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。

電源スイッチのランプが点灯：緑色

- 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください。詳細は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
- 背面の主電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。

電源スイッチのランプが点灯：橙色

- 入力信号を切り替えてみてください。詳細は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
- マウス、キーボードを操作してみてください。
- コンピュータの電源は入っていますか。
- 信号ケーブルが正しく接続されていますか。選択している入力信号のコネクタに信号ケーブルを接続してください。
- 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。

電源スイッチのランプが点滅：橙色、緑色

- 当社指定の信号ケーブルで接続してください。その後、背面の主電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。

画面に「入力信号無し」のメッセージが表示される

例：



- コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、上のような画面が表示されることがあります。
- コンピュータの電源は入っていますか。
- 信号ケーブルは正しく接続されていますか。選択している入力信号のコネクタに信号ケーブルを接続してください。

- USB-C（ダウンストリーム：) はデージーチェーン接続の出力に使用します。コンピュータと接続しても画面は表示されません。
- 入力信号を切り替えてみてください。詳細は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
- 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。

画面に「信号エラー」のメッセージが表示される

例：



DisplayPort 1
信号エラー

- コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（[4.2 対応解像度 \[P. 39\]](#)参照）。
- コンピュータを再起動してみてください。
- グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

画面に「DP 非対応」のメッセージが表示される



USB-C
DP 非対応

- 当社指定の信号ケーブルで接続されていますか。
- 接続している機器のUSB-Cが映像信号の出力（DisplayPort Alt Mode）に対応していますか。詳細は、機器メーカーへお問い合わせください。
- DisplayPortケーブルまたはHDMIケーブルで接続してください。

4 仕様

4.1 仕様一覧

4.1.1 種類

RX670	アンチグレア仕様
RX670-AR	アンチリフレクション仕様

4.1.2 液晶パネル

種類	カラー（IPS）
バックライト	LED
サイズ	30.0型（76.2 cm）
解像度	3280ドット×2048ライン
表示面積（横×縦）	645.5 mm×403.0 mm
画素ピッチ（横×縦）	0.197 mm×0.197 mm
表示色	10 bitカラー（DisplayPort / USB-C）：最大10.7億色（約5430億色中） 8 bitカラー（DisplayPort / HDMI）：1677万色（約5430億色中）
視野角（水平 / 垂直、標準値）	178° / 178°
推奨輝度	500 cd/m ²
コントラスト比（標準値）	1800:1
応答速度（標準値）	25 ms（黒→白→黒）

4.1.3 映像信号

入力端子	DisplayPort×2、USB-C（DisplayPort Alt Mode）×1、HDMI×1
出力端子	USB-C（DisplayPort Alt Mode）×1
水平走査周波数	31 kHz～127 kHz
垂直走査周波数 ^{※1}	59 Hz～61 Hz（720×400：69 Hz～71 Hz）
フレーム同期モード	59 Hz～61 Hz
ドットクロック	25 MHz～440 MHz

※1 解像度により対応可能な垂直走査周波数は異なります。詳細は、[4.2 対応解像度 \[P. 39\]](#)を参照してください。

4.1.4 USB

ポート	アップストリーム	USB-C×1、USB-B×2
	ダウンストリーム	USB-A×3、USB-C×1
規格		USB Specification Rev.2.0
通信速度		480 Mbps、12 Mbps、1.5 Mbps
供給電源	アップストリーム	USB-C：最大94 W（5V/3A、9V/3A、15V/3A、20V/4.7A）
	ダウンストリーム	USB-A：最大500 mA / 1ポート USB-C：最大15 W（5V/3A）

4.1.5 ネットワーク

ポート	RJ-45（USB LANアダプタ）
対応OS ^{※1}	Windows 11 Windows 10（32ビット版 / 64ビット版） macOS Sierra（10.12）以降
有線LAN	IEEE802.3ab（1000BASE-T） IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3（10BASE-T）

※1 OS提供元のサポート終了にともない、当社のサポートも終了します。

4.1.6 電源

電源入力	AC 100 - 240 V ± 10 %、50 / 60 Hz、2.80 – 1.20 A
最大消費電力	279 W以下 ^{※1}
省電力時消費電力	0.5 W以下 ^{※2}
待機時消費電力	0.5 W以下 ^{※3}

※1 外部負荷接続、「モード」：「4-Custom」、「ブライトネス」：「100%」、RadiLight Focus オン、RadiLight Area 明るさ最大

※2 DisplayPort入力時、USBアップストリームポート非接続、「パワーセーブ」：「高」、「DP Power Save」：「オン」、「One Cable PbyP」：「オフ」、RadiLight Focus 接続、RadiLight Focus オフ、外部負荷非接続

※3 USBアップストリームポート非接続、「DP Power Save」：「オン」、「One Cable PbyP」：「オフ」、RadiLight Focus 接続、RadiLight Focus オフ、外部負荷非接続

4.1.7 機構

外観寸法（幅×高さ×奥行）	682.0 mm×490.5 mm～590.5 mm×225.0 mm （チルト角度0°時） 682.0 mm×534.7 mm～634.7 mm×295.2 mm （チルト角度30°時）
外観寸法（幅×高さ×奥行）（モニター部）	682.0 mm×441.0 mm×88.0 mm
質量	約15.8 kg
質量（モニター部）	約11.7 kg
昇降	100 mm（チルト角度0°時）
チルト	上30°、下5°
スウィーベル	70°

4.1.8 動作環境条件

温度	0 °C～35 °C
湿度	20 %～80 %（R.H.、結露なきこと）
気圧	540 hPa～1060 hPa

4.1.9 輸送 / 保存環境条件

温度	-20 °C～60 °C
湿度	10 %～90 %（R.H.、結露なきこと）
気圧	200 hPa～1060 hPa

4.2 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

○：対応、－：非対応

解像度	垂直走査周波数 (Hz)	DisplayPort / USB-C			HDMI	
		1画面表示	PbyP表示	PinP表示	1画面表示	PinP表示
640×480	59.940	○	○	○	○	○
640×480	60.000	－	－	－	○	○
720×400	70.087	○	○	○	○	○
720×480	59.940	－	－	－	○	○
720×480	60.000	－	－	－	○	○
800×600	60.317	○	○	○	○	○
1024×768	60.004	○	○	○	○	○
1200×1600	59.963	－	－	○	－	○
1200×1920	59.940	－	－	○	－	○
1280×720	59.940	－	－	－	○	○
1280×720	60.000	－	－	－	○	○
1280×1024	60.020	○	○	○	○	○
1600×1200	60.000	○	○	○	○	○
1640×2048	59.985	－	○ ^{※1}	－	－	－
1920×1080	59.940	－	－	－	○	○
1920×1080	60.000	－	－	－	○	○
1920×1200	59.950	－	－	○ ^{※1}	－	○ ^{※1}
2560×1600	59.972	－	－	－	○ ^{※2}	－
3280×2048	59.981	○ ^{※1}	－	－	○ ^{※3}	－

※1 推奨解像度

※2 「管理者設定」で「LMMモード(HDMI)」を「オン」に設定した時の推奨解像度

※3 「管理者設定」で「LMMモード(HDMI)」を「オフ」に設定した時の推奨解像度

4.3 オプション品

次のオプション品を別売りで用意しています。

オプション品に関する最新情報および最新の対応グラフィックスボード情報は、当社のWebサイトを参照してください。

(www.eizo.co.jp)

キャリブレーションキット	RadiCS UX2 Ver.5.1.3以降 RadiCS Version Up Kit Ver.5.1.3以降
ネットワーク品質管理ソフトウェア	RadiNET Pro Ver.5.1.3以降
クリーニングキット	ScreenCleaner
小型端末取付用VESAアダプタ	PCSK-R1
信号ケーブル (USB-C - DisplayPort)	CP200

付録

医療規格

この製品を用いる装置を設計、使用する場合は、IEC60601-1の規格要求に従ってください。

VCCI

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

EMC情報

RadiForce RX670は、医用画像を適正に表示する性能を有しています。

意図した使用環境

RadiForce RX670は次の環境での使用を意図しています。

- ・ 医院・病院などの専門的ヘルスケア施設内の環境
- ・ ホームヘルスケア環境のうち住居・住宅などの居住区

次のような環境での使用は意図していません。

- ・ 居住区を除くホームヘルスケア環境
- ・ 電気メスなどの高周波手術機器の近傍
- ・ 短波治療機器の近傍
- ・ MRI用RF遮蔽室内
- ・ 遮蔽された場所の特殊環境内
- ・ 救急車両を含む車載
- ・ その他特殊環境

警告

- ・ RadiForce RX670は、EMC（電磁両立性）に関する特別な安全上の注意を必要とします。EMC情報および本書内の「使用上の注意」をよくお読みになり、以下の指示に従って、設置、操作する必要があります。

警告

- ・ RadiForce RX670は、他の機器に隣接した設置や積み重ねた状態で使用をしないでください。やむを得ずその状態で使用する場合は、RadiForce RX670およびシステムが実際に使用される構成で正常に動作することを確認してください。

警告

- ・ 携帯型RF通信機器は、ケーブルを含むRadiForce RX670のいかなる部分に対しても、30cm（12インチ）以上離して使用してください。RadiForce RX670に影響を与える恐れがあります。

警告

- ・ 信号入力部または出力部に追加装置を接続し、医療システムで使用する場合は、必ずIEC60601-1-2の要件に準拠してください。

警告

- ・ RadiForce RX670の使用中は信号入出力コネクタ類には触らないでください。表示画像に影響を与える恐れがあります。

 警告

- ・ ケーブルは、必ず付属品または当社が推奨するケーブルを使用してください。
当社の推奨ケーブル以外を使用した場合、電磁妨害波の増加、電磁妨害に対する耐性低下の恐れがあります。

信号ポート	最大ケーブル長	シールド	フェライトコア	推奨ケーブル
DisplayPort	3 m	シールドあり	フェライトコアなし	PP300-V14
HDMI	3 m	シールドあり	フェライトコアあり	HH300PR
USB-C (アップストリーム)	1.5 m	シールドあり	フェライトコアなし	CC150SS81G-5A
USB-C (ダウンストリーム)	2 m	シールドあり	フェライトコアなし	ー
USB-B (アップストリーム)	3 m	シールドあり	フェライトコアあり	UU300 / MD-C93
USB-A (ダウンストリーム)	3 m	シールドあり	フェライトコアなし	ー
Ethernet	30 m	シールドなし	フェライトコアなし	ー
ACインレット (またはAC入力)	3 m	シールドなし	フェライトコアなし	アース付き

技術的説明**電磁エミッション**

RadiForce RX670は、次に規定する電磁環境内での使用を意図している。

顧客またはRadiForce RX670の使用者は、次の環境でRadiForce RX670が使用されていることを確認すること。

エミッション試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RFエミッション CISPR11	グループ1	RadiForce RX670は、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用している。 したがって、そのRFエミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。 RadiForce RX670は、住居環境および住居環境の建物に供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された建造物を含む、すべての施設での使用に適している。
RFエミッション CISPR11	クラスB	
高調波エミッション IEC61000-3-2	クラスD	
電圧変動/フリッカエ ミッション IEC61000-3-3	適合	

電磁イミュニティ

RadiForce RX670は、IEC60601-1-2で規定される専門的ヘルスケア施設環境およびホームヘルスケア環境での要求試験レベル（T）に対して、次の適合レベル（C）で試験されている。

顧客またはRadiForce RX670の使用者は、次の環境でRadiForce RX670が使用されていることを確認すること。

イミュニティ試験	試験レベル（T）	適合レベル（C）	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電（ESD） IEC61000-4-2	±8 kV 接触放電 ±15 kV 気中放電	±8 kV 接触放電 ±15 kV 気中放電	床は、木材、コンクリートまたはセラミックタイルであること。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも30%であること。
電氣的ファストランジェント/バースト IEC61000-4-4	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	供給電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。
サージ IEC61000-4-5	±1kV ライン-ライン間 ±2kV ライン-接地間	±1kV ライン-ライン間 ±2kV ライン-接地間	供給電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。
交流電源における電圧ディップ、瞬時停電、および電圧変動 IEC61000-4-11	0% U_T （100% U_T のディップ）0.5サイクル、1サイクル 70% U_T （30% U_T のディップ）25サイクル / 50 Hz 0% U_T （100% U_T のディップ）250サイクル / 50 Hz	0% U_T （100% U_T のディップ）0.5サイクル、1サイクル 70% U_T （30% U_T のディップ）25サイクル / 50 Hz 0% U_T （100% U_T のディップ）250サイクル / 50 Hz	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。RadiForce RX670の使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合は、RadiForce RX670 への電力を無停電電源または電池から供給することを推奨する。
電力周波数磁界 IEC61000-4-8	30 A/m (50/60 Hz)	30 A/m	電力周波数磁界は、標準的な商用または病院環境における一般的な場所と同レベルの特性を持つこと。 電力周波数磁界の発生源とは少なくとも15cm以上離して使用すること。

イミュニティ試験	試験レベル (T)	適合レベル (C)	電磁環境 - ガイダンス
RF電磁界による伝導妨害 IEC61000-4-6	3 Vrms 150 kHz～80 MHz 6 Vrms 150 kHz～80 MHz間のISM帯域 ^{※1} およびアマチュア無線帯域 ^{※2}	3 Vrms 6 Vrms	携帯型および移動型RF通信機器は、ケーブルを含むRadiForce RX670のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないこと。 推奨分離距離 $d = 1.2\sqrt{P}$ $d = 1.2\sqrt{P}$
放射RF電磁界 IEC61000-4-3	10 V/m 80 MHz～2.7 GHz	10 V/m	$d = 1.2\sqrt{P}$ 80 MHz～800 MHz $d = 2.3\sqrt{P}$ 800 MHz～2.7 GHz ここでPは、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、dはメートル (m) で表した推奨分離距離である。電磁界の現地調査 ^{※3} によって決定する固定RF送信機からの電界強度は、各周波数範囲 ^{※4} における適合レベルよりも低いこと。 次の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が発生する可能性がある。 

参考

- U_T は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。
- 80 MHzおよび800 MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。
- RF電磁界による伝導妨害や放射RF電磁界に関するこれらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物、物、人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響する。

※1 150 kHz～80 MHz間のISM（工業用、科学用および医学用）帯域は、6.765 MHz～6.795 MHz、13.553 MHz～13.567 MHz、26.957 MHz～27.283 MHz、および40.66 MHz～40.70 MHzである。

※2 0.15 MHz～80 MHzのアマチュア無線帯域は、1.8 MHz～2.0 MHz、3.5 MHz～4.0 MHz、5.3 MHz～5.4 MHz、7 MHz～7.3 MHz、10.1 MHz～10.15 MHz、14 MHz～14.2 MHz、18.07 MHz～18.17 MHz、21.0 MHz～21.4 MHz、24.89 MHz～24.99 MHz、28.0 MHz～29.7 MHz、および50.0 MHz～54.0 MHzである。

- ※3 例えば、（携帯/コードレス）電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FMラジオ放送およびTV放送などの固定送信機からの電界強度を、正確に論理的に予測することはできない。固定RF送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮すること。RadiForce RX670が使用される場所において測定した電界強度が、上記の適用されるRF適合性レベルを超える場合は、RadiForce RX670が正常に動作するかを検証するために監視すること。異常動作が確認された場合は、RadiForce RX670の再配置または再設置のような追加対策が必要になることがある。
- ※4 周波数範囲150 kHz～80 MHzにわたって、電界強度は3 V/m未満であること。

携帯型および移動型RF通信機器との間の推奨分離距離と確認された各種通信機器サービス

RadiForce RX670は、放射RF妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。顧客またはRadiForce RX670の使用者は、携帯形及び移動型RF通信機器（送信機）とRadiForce RX670との間の最小距離（30 cm）を維持することで、電磁妨害を抑制することができる。以下のRF通信サービスにおける近接電磁界イミュニティの要求試験レベル（T）に対して、RadiForce RX670は次の適合レベル（C）で試験されている。

試験周波数 (MHz)	帯域 ^{※1} (MHz)	サービス ^{※1}	変調 ^{※2}	試験 レベル (T) (V/m) ^{※3}	適合レベル (C) (V/m)
385	380～390	TETRA 400	パルス変調 ^{※2} 18 Hz	27	27
450	430～470	GMRS 460, FRS 460	FM ±5 kHz偏差 1 kHz正弦	28	28
710	704～787	LTE帯域13,17	パルス変調 ^{※2} 217 Hz	9	9
745					
780					
810	800～960	GSM800/900, TETRA 800, iDEN 820 CDMA 850, LTE帯域5	パルス変調 ^{※2} 18 Hz	28	28
870					
930					
1720	1700～1990	GSM 1800; CDMA 1900; GMS 1900; DECT; LTE帯域1,3,4,25; UMTS	パルス変調 ^{※2} 217 Hz	28	28
1845					
1970					
2450	2400～2570	ブルートゥース®, WLAN, 802.11 b/g/n, FIRD 2450, LTE帯域7	パルス変調 ^{※2} 217 Hz	28	28
5240	5100～5800	WLAN 802.11a/n	パルス変調 ^{※2} 217 Hz	9	9
5500					
5785					

※1 サービスによっては、アップリンク周波数のみ含まれる。

※2 搬送波は、50%デューティサイクル矩形波信号を用いて変調した。

※3 試験レベルは、最大電力、30cmの分離距離により計算した。

顧客またはRadiForce RX670の使用者は、RF送信機とRadiForce RX670との間の最小距離（15cm）を維持することで、近接磁界による妨害を抑制することができる。以下の近接磁界イミュニティの要求試験レベル（T）に対して、RadiForce RX670は次の適合レベル（C）で試験されている。

試験周波数	変調	試験レベル（T） （A/m）	適合レベル（C） （A/m）
30 kHz	CW（連続波）	8	8
134.2 kHz	パルス変調 ^{※1} 2.1 kHz	65	65
13.56 MHz	パルス変調 ^{※1} 50 kHz	7.5	7.5

※1 搬送波は、50%デューティサイクル矩形波信号を用いて変調した。

その他の携帯型及び移動型RF通信機器（送信機）について、通信機器の最大出力に基づくRadiForce RX670との間の最小距離は、次のとおりである。

送信機の最大定格出力 （W）	送信機の周波数に基づく分離距離 （m）		
	150 kHz～80 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	80 MHz～800 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	800 MHz～2.7 GHz $d = 2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストされていない最大定格出力の送信機に関しては、送信機の周波数に対応する式を使用して推奨分離距離d（単位はメートル（m））を決定できる。ここで、Pは送信機製造業者による送信機の最大定格出力（単位はワット（W））である。

参考

- 80 MHzおよび800 MHzにおいて、分離距離は高い周波数範囲を適用する。
- RF電磁界による伝導妨害や放射RF電磁界に関するこれらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物、物、人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響する。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・ お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- ・ お買い上げ年月日、販売店名
- ・ 製品名、製造番号（製造番号は、本体の背面部やインフォメーションに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- ・ 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- ・ 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- ・ エラーコード（画面に表示された場合）

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。

当社製品は、一般社団法人「パソコン3R推進協会」が回収させていただきます。

回収を希望されるお客様は当社のWebサイトよりお申し込みください。

(www.eizo.co.jp)

※ この製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

保証書

この保証書は、購入日がわかる書類（納品書やレシートなど）とともに保管し、保証を受ける際はご提示ください。

製品名	保証期間
RadiForce®RX670	お買い上げの日より 5 年間※

※ ただし、輝度の保証期間は取扱説明書に記載の推奨輝度以下でのご使用の場合に限定され、お買い上げの日より5年間かつ製品使用時間が20,000時間以内（輝度500 cd/m²かつ色温度7500K時）です。

記入欄

フリガナ	製造番号（S/N）
お名前様	製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
TEL（ ）	お買い上げ年月日 年 月 日
〒 ご住所	販売店の住所、店名

保証規定

- この製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合および推奨輝度に満たなくなった場合、無償で故障箇所の修理または交換をいたします。保証書を添えてお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお申しつけください。
- 保証期間内でも次のような場合には、有償となります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因や、塵・埃に起因する故障および損傷
 - 強い振動や衝撃を受ける場所に搭載された場合に生じる故障および損傷
 - 当社が想定する使用環境や使用状況を逸脱した場合
 - 電池の液漏れによる故障及び損傷
 - 液晶パネル、バックライトの経年劣化（色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）
 - センサー経年変化による性能劣化（測定値の変化など）
 - 取扱説明書に記載の推奨輝度を超えて使用しつづけ、推奨輝度に満たなくなった場合
 - 外装（液晶パネル、タッチパネル、保護パネルの表面、キャビネットなど）の劣化、変色
 - 付属品（ケーブル、取扱説明書、CD-ROMなど）の故障、損傷、劣化、紛失
 - 当社指定の消耗品（電池、リモコン、タッチペンなど）の故障、損傷、劣化、紛失
 - 塵・埃などの外的要因による冷却ファンの異音、回転不良
 - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
- 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理または交換をお約束するものです。保証期間経過後の修理または交換については、お買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお問い合わせください。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（意匠部品を除く、製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の生産終了後、最低7年間保有しています。この期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合があります。
- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがあります。
- 修理状況や補修用性能部品の在庫切れなどにより修理できない場合は、修理に代えて同等性能製品への置き換えを提案させていただきます。
- 当社は、この製品の使用または故障により生じた直接、間接（逸失利益などを含む）のいかなる損害について責任を負いません。また、この製品の記憶装置に記録された内容の消失などについても同様です。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。



EIZO株式会社
〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

www.eizo.co.jp

Copyright © 2024 EIZO Corporation. All rights reserved.

00N0N440A2
IFU-RX670

1st Edition – January 31st, 2024